

常磐毎日

六年間に二億圓分益炭

戸部氏が依炭礦を告訴

去る十五年ごろから六年间にわたり金額にして二億円の石炭を益されたと訴えだしたから去る八月水戸地裁、茨城県本部が現地に乗り込んで調査をしている。被告側と車内炭礦の侵掘をめぐる盜炭事件は、盗み廻りした依炭駆逐では過少に申し開き、一方の車内側では約七万トン盜掘されたと原告が主張を認めの結果、こんどは争いの焦点となる駆逐面積などをバスを入れたため舞台を石炭局に移し近く立合測量を実施。正式に被害額度をはつきらさせることになった。

近く立合會測量実施

告訴した原告側は北茨城市車内炭

鉱(経営者戸部光衛氏)告訴された被告側は隣接する依炭駆逐(県議会議員鈴木茂専務所長)で車内側のい

い分によると、駆逐は去る二十五年ごろから車内炭駆逐と同様の駆逐の保

安炭駆逐から約三万トン、さらにそ

の後二十年秋ごろから三十年

ト三月じるまでに三万七千トン、また三十年四月から同年七月までは四十万トンが益まれ、どう

して三十九年秋ごろから三十一年

ト三月じるまでに五万三千百トンは益まれたという。このため車内炭駆逐では再三にわたり協議したが駆逐では境内

の車内炭駆逐法に定められた第七

条第2項の規定によると、被告側のいう駆逐などが確かな

ため立合測量を受けることになった

が、いままでの調査結果によると

機能委員会はつきりして開かれたものである。協議結果は

そのため駆逐法に定められた第七

条第2項の規定によると、被告側のいう駆逐などが確かな

ため立合測量を受けることになった

が、いままでの調査結果によると

機能委員会はつきりして開

石炭と同一鑛床

天然ガス 科學調査で結論

推定埋蔵五億立方メートルの地下資源をもつ當地区的天然ガス開発は石炭系、石油系、可燃性ガスと闘わざる総合開発の重要なエネルギーとして早期開拓は既定の裏裏となつてゐるが、このガス開拓化をめぐつて炭鉱側ではガス鉱区を認められれば炭鉱がガスボーリングのため重複などにより保安上致命的な打撃を受けるなどの理由から平石炭支局では東北大江博士にガス種類の調査を依頼した結果、石炭と同一鉛床のガスであると學術的結論が出た。このため通産省では対策を練つてゐたが、八日本省に關係者が集り企画化について採掘権の焦点となる鉛法の改正案を検討した結果、次期国会に同案を提出する運びとなつたといわれコントンとしてガス問題に結論を出すことになった。

企業化には 法の改正必要

全國的なガスブームにつれて、地下ガス化の企画に目をつけたガス採業者は當壁、古河、大日本處事など十数社にまたがる石炭鉱の上層部にある地下ガスは石炭から発生するガスと別な異種ガスであるから採取を許可してほしいと仙台通産局に鉛設定の申請を行つた。これに対し炭鉱側では現在噴出しているガスは石炭系のものであるから異種ガスであつても、石炭鉱と二重設定した場合、ボーリングによる地下水の侵透からの危険を防止するためボーリングを行つた。これが落盤を防止するためボーリングを行つた。

キヤラバン

日程「コース」なご決る

當壁地区徳光協会員會は9月11日午後1時から四倉役場で開き、自ら科学列車進行の経過報告、立物展覧、柴燃機器キヤラバン、明年度事業計画などについて協議

採業上の紛争が起る。

また天然ガス側につつても坑道掘進、採掘によつてガスの放散をひき起すなどガス採取に苦難を來すなど、両方ともお互いの操業調整は難かしい、さらに大きな問題は石炭と天然ガスの二重設定を認められれば噴出したガスの所有権問題にまで發展せんとするので、この結果開拓者が一致して鉛設法の改正を運動、企画への道筋を劃くことになった。

リング孔附近の採掘制限、さらに採業者との地上施設のことなど

全国指定の牛赤井岳、水石山夏井川渓谷、勿来園、湯本温泉

農間縫合、新舞子、波立温泉等

を中心とする觀光宣伝映画(テクニカラ)を作成する△赤井

岳参道(赤井駅から)を三十

二年度中に竣工する△新舞子入

口道路の幅員(六米)を拡張す

る△海岸遊歩道(觀光道路)

を早急に完成する△水石山河口

の橋梁を作成する△水石山自動

車定期行を促進する△海水浴

船運行する。

◆柴燃設置キヤラバ、隊は自動

車七台で編成、バスバンドを

先頭に山伏、稚見、じやんがら

念仏チーム、奉賀会員らが乗車

五日半、水石山、横田、磯原、

郡山、須賀川、石川、湯本△十

高萩、日立、水戸往復。

世界に小名浜、四倉の周遊シースンに小名浜、四倉の周遊

久之浜、広野、木戸、富岡、浪江、小高、原町、中村住復△十

四日半、赤井、小川、川前、

赤井、小野新町、船引、三春、

郡山、須賀川、石川、湯本△十

高萩、日立、水戸往復。

は次の通り△十二日半、四倉

演の象、トラ、ライオンなどの猛獸と絶対三百五十名が數台の自動車に乗つて市内行進大パレードを繰り広げ、世界五大サーカスの一つとしてのシバタサーカス田

道行人も立ち止まつて西援を送つてゐた。

ト商工会館前広場で二十年ぶりにふた開けされ

た。この日開場に先立つて午前九時三十分から出

演の象、トラ、ライオンなどの猛獸と絶対三百五十名が數台の自動車に乗つて市内行進大パレードを繰り広げ、世界五大サーカスの一つとしてのシバタサーカス田道行人も立ち止まつて西援を送つてゐた。

